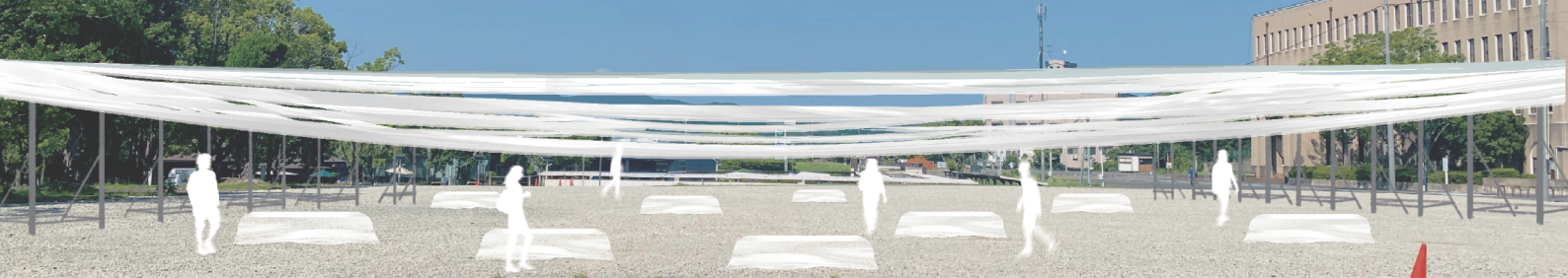


たゆたう風景

青空が広がる空っぽの場に、雲のような空間。



1. 雲のような空間

体育館が取り壊され、校内の中心に青空が広がった。
新たな風景は空と近く、どこか心地良い。
開かれた空と快い風を感じるこの
大地と空の間に、雲のような空間を創出する。

2. インスタレーションの賑わい

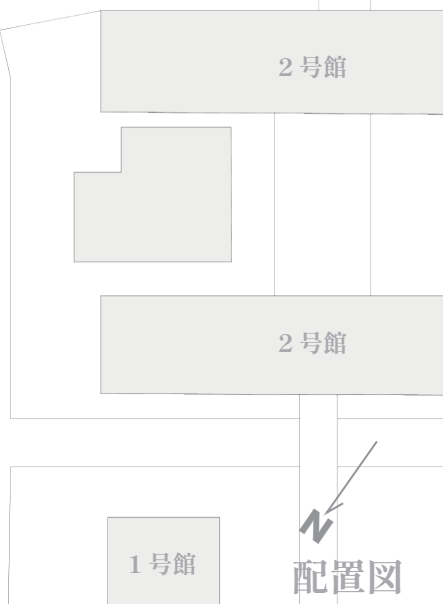
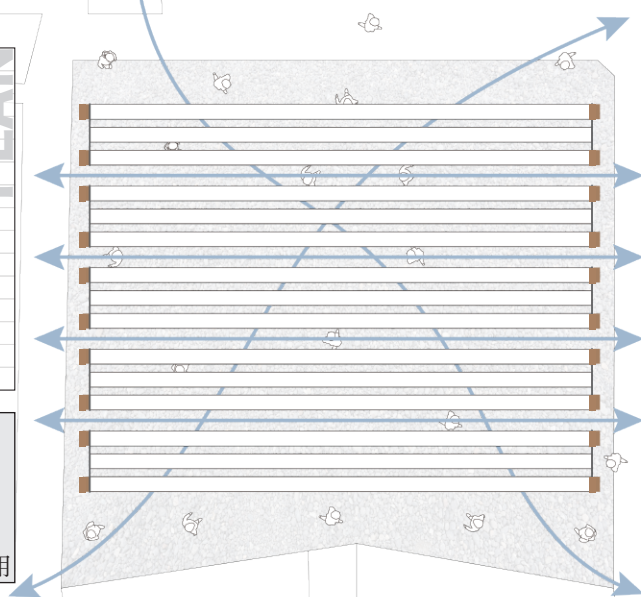
大学構内にはいくつか休息の場はすでに点在している。
ログハウス前のテラス、空調の効いた教室、オープンスペース。
体育館跡地にベンチ等で同様の場を計画するのも一案であるが、
休息という役割が重複し、新規性のある楽しい出来事を想像しづらい。
そこで、行き交う人々が空間体験で場の価値を感じ、
休みたくなるような**インスタレーションを提案する。**

平面計画

1. 全方向に**通り抜け**が可能
2. 空への広がり进行いかした**視線の抜け**
3. 布と単管パイプのみで敷地全体を構成
4. 休息のための**ベンチ**を設置

ベンチ

前喫煙所のベンチに布をかけ再利用



3. 一反の布で全体を構成

敷地に対し、対になるように単管の衝立を設置。
衝立から衝立に布をたわませる様に張る。
風でたゆたう布は雲のように絶えず表情を変化させる。
布と布の隙間からは揺らぐ光が差し込み、青空が垣間見える。

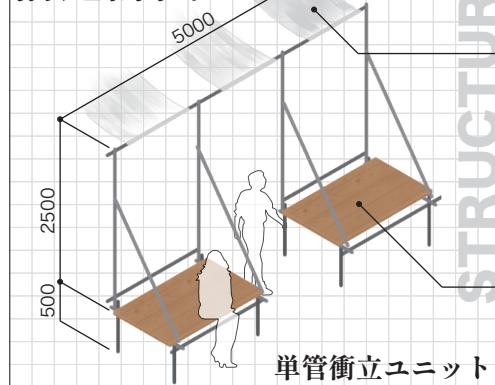
4. 装飾性と機能性

布は防水布を採用し、布の吸水を防ぐことで
汚れによる清掃、**張り替えが不要、メンテナンスフリーとする。**
以前の喫煙所に設置されていたベンチを設置し、
ベンチには布を被せ、世界観を統一させた**休息の場を設ける。**



跡地から空を見上いる

構造計画



防水布

合板ベンチ